



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

平成27年2月17日(火) 第2705回例会 (本年度第27回)

2月24日(火)	会員スピーチ 藤川享胤君「私のロータリー観」
3月3日(火)	職場訪問 加藤嘉八郎酒造
3月10日(火)	情報委員会の日(真島吉也君)
3月17日(火)	ゲストスピーチ ドール・シェーンさん、奥山さん「日本に魅せられて」



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

会長あいさつ

丸山隆志君

インターネットで天気予報を見ていたら、今週は第一級の寒気団が南下して、ずっと雪になるようです。偏西風の偏りが原因になっているようですが、皆様には十分気を付けて頂きたいと思います。

今の建物は断熱されていて、マイナス5度まではほとんど大丈夫です。前だと水道管が凍って水が出ないという話を聞きましたが、今はたいていの家庭に水抜きがあり、冬に水が凍って出ないという話は無くなりました。

寒くなって懐かしいものの一つに「煮凝り」があります。鰯を煮て寒い日に一晚台所に置くと汁が固まって寒天のようなゼラチン状になります。それをご飯にかけて食べるのが子供のころの楽しみでした。今の若い人は分からないと思います。「綿入れ」分かりますか? “ちゃんちゃんこ”のような形で、綿が入って厚くなっています。これを着て寒さを凌ぎました。今はあまり厚着をさせないようです。昔は寒かったらいっぱい着る、暑かったら脱ぐと自然に任せて暮らしていました。寒い日は一つの部屋に集まり炬燵に入って一家団欒、いろんな話をしました。今は贅沢になって、各部屋に暖房があります。昔は昔でそんないいコミュニケーションがあったんだなと思っています。

報告です。元会員の荻原晋さんが2月4日に亡くなり、クラブを代表して7日の葬儀に参列してまいりました。荻原さんは平成元年に入会し、平成14年に退会され、みづほ産業の前の社長さんでした。塚原年度の幹事さんでした。止めなければ会長を勤めていた人です。私より学年が二つ上で67歳、まだまだ若かったのにと残念に思っています。

今週は越智年度のセミナーがあります。14日はバレンタインデー、吉野さんとこの売上が伸びると思っています。また大山の新酒祭りがあります。来週の

スピーチは、荘内日報にもお名前がよく出ている佐々木勝夫さん、その次が藤川さんです。今月は大きな活動がないので例会を充実させたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

幹事報告

菅原成規君

- 国際ロータリー
会員増強ウェビナーシリーズ第3回「革新的なクラブへのステップ」にぜひご登録を
- ロータリーの友
2015-2016年度 ロータリー手帳 1冊 600円 +税 +送料締切 2/25
- ガバナー事務所
週報提出のお願い
週報一部：7月1日～現在まで
提出期限：3月16日
- 庄内総合支庁建設総務課長
河川美化にかかる情報提供について

協力同心

鶴岡青年会議所理事長 吉宮哲史氏



本年、鶴岡青年会議所は「協力同心～未来へつなぐ懸け橋となれ～」をスローガンのもと、基本理念を「我々、鶴岡青年会議所メンバーは力と心を合わせ、一緒になって目的達成のために努力し、明るい豊かな社会の創造に向けて、青年会議所運動を実践して行きます。」

私が入会した2009年は124名の会員がおりましたが、今年のスタート人数は78名です。6年前より46名減少しております。

鶴岡は全国で343番目の青年会議所として創立し、来年50年目の節目を迎えます。

何事も、始まりのきっかけは人の手によるもので、

出席報告

会員数	36名
出席	21名
出席率	61.76%
前々回確定出席率	55.88%

RI会長 ゲイリー C. K. ホアン 地区ガバナー 池田徳博

会長/丸山隆志 副会長/加藤 亨 幹事/菅原成規 会長エレクト/越智茂昭
会報委員会/佐藤久樹・阿部純次・小林健郎・石田 雄

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

歴史も人の手によって、次へとつながれていくものです。これまでに先輩諸兄が繋いできた、青年会議所運動の歴史と志を、私たちは次へ繋いでいく必要があります。

人は人で磨かれていくもの、この地域に住み暮らす私たちだからこそ、この地域の未来を考えていく団体だから、未来を作っていくべきだと思います。それでも、その行動を起こさなければ変わりません。メンバー同士が協力し合い、支え合い、そして未来と向き合う自分づくりができればいけないのです。

私は未来へ繋ぐための力として 6 つのテーマを掲げさせていただきました。

一つ目は、もっと多くの青年の力を結集させ地域奉仕、地域発展に携わり、意識変革の機会を創り出して行き、この地域の未来を担うのは我々青年であり、メンバーが明確なビジョンと高い志を持って行動しなければならない会員相互の意識向上へつなぐ力です。

二つ目は、これまで先輩諸兄が作り上げてきた鶴岡青年会議所をしっかりと継承していくため、半世紀の運動を検証し、これまでの運動と活動に対して多くの方々へ感謝し、更なるプレゼンスの向上をするために、創立 50 周年に向け一致団結した運動を展開していく、創立 50 周年に向けてつなぐ力です。

三つ目は、青少年の健全なる育成を目的に、わんぱく相撲の開催を今年も行います。

地域との連携を深め、さまざまな地域資源と充実感のある体験活動の場を提供し、家族と過ごす時間や地域で過ごす時間を持ち、身近な大人たちが手本となり大人どうしに関わり合える環境づくりにも取り組むことが必要です。日常生活から社会生活の基礎となる学びを与えることで、地域に触れ、人と触れ合い、思いやりある心を育むという、子供たちの健やかな成長こそが未来につなぐ人財育成と考え、子供たちの未来へつなぐ力となります。

四つ目は、現代社会では、働く女性の増加に伴い、女性の視点を活かした内容が重要視されています。今後も女性の活躍が期待される中で、暮らしやすい社会と働きやすい環境を整えることが、女性の持つ能力を最大限に発揮でき、地域活性化の重要な鍵になり、新たな経済成長の視野を広げ、幅を広げた意識変革を取り入れていくことが新たな鶴岡の魅力につなぐ力となります。

五つ目は青年会議所は活動や運動を通して新たな価値観を身に付け、創意に満ち溢れた運動に取り組むことが JAYCEE であり、我々は多くの学びの機会を得て、自己の成長と地域へのつながりを創り出していくことが、この団体組織の必要性であると考えます。組織の最小単位は一人ひとりです。組織力を高めるためには一人ひとりが共有された目的やビジョンを明確にし、同じ目標を目指すことが組織としてつなぐ力となって行きます。

六つ目が、赤川花火大会を 25 年の四半世紀という短い期間で、ここまでの大会に急成長させ、急激な規模拡大をすることにつながりました。赤川花火大会には、新たな地域コミュニティの創造につながる大きな力をもっています。一昨年より鶴岡を代表する夏のお祭り「荘内大祭」、「山王おいやさ祭り」、「赤川花火大会」が連携した「鶴岡お祭りウィーク」が誕生しました。市民・他団体との協働・連携により、互いの強みを活かした幅広い展開をし、更に新たな鶴岡の発展につなげてきました。そして大会を運営するうえで、安心・安全な花火大会にする対策も進めて行かなくてはなりません。市民・行政関係との連携も重要課題として意識を持ち、安全な大会構築を行なっていきます。思いやりと情熱から生まれる果敢な行動は、必ず地域や人の心へ伝わり、輝かしい未来へつながる道となります。第 25 回赤川花火大会を記念大会と位置付け、更にこの地域に愛され、無くてはならない新たな地域コミュニティへつなぐ力「感動日本一の赤川花火大会」へとつなげて行きます。やさしくあるために強くなる、自分づくりと地域づくりを、私たち青年経済人として、我々の手で、この地域の未来、そして自分自身の未来を変えていく人材になって頂きたいと思っております。

志と熱い情熱を共有し、率先した行動によって「協力同心」の想いに満ち溢れた地域を創造して、「未来へつなぐ懸け橋」となっていく運動展開を今年 1 年間行なってまいります。

本日はどうもありがとうございました。

委員会報告

職業奉仕委員会

佐藤 友行君

3月3日に職場訪問移動例会を行います。場所は大山の加藤嘉八郎酒造です。2時30分に当ホテルからバスを出してもらいます。お酒に関する卓話と出来立ての新酒を頂く事になっています。1時間ほど戻ってきます。物足りない方は9階でやり直しと考えておりますのでふるってご参加ください。

出席委員会

◆ゲスト

鶴岡青年会議所理事長 吉宮 哲史氏

◆メイクされた方

阿部純次君・佐藤詩郎君・武田啓之君

スマイル 😊

阿蘇司朗君 吉宮さん、ありがとうございました。

丸山隆志君 吉宮さん、スピーチありがとうございました。

武田啓之君 吉宮さん、ありがとうございました。OBとして。